

Contacts

Mazars有限責任監査法人

〒107-0052
東京都港区赤坂1-11-44
赤坂インターシティ5階
Tel: 03-6823-6601
Email: communication@mazars.jp

Mazarsは国際的な統合パートナーシップであり、監査、会計、アドバイザリー、税務、法務サービス*を専門としています。世界95以上の国と地域で業務を展開しており、すべての規模のクライアントをあらゆる成長段階で支援するために、47,000人を超えるプロフェッショナルの専門知識を提供しています。そのうち、30,000人超はMazarsの統合パートナーシップに属し、17,000人超はMazars North America Allianceを介しています。

*適用国の法律で許可される場合

© Mazars 2023

www.mazars.jp

mazars



Mazars, the smart choice.
Mazars有限責任監査法人

mazars



We are Mazars

CEO 挨拶

大矢 昇太

Mazars有限責任監査法人 総括代表社員 CEO

Mazarsは、グローバルで戦えるプラットフォームを用意し、皆さんの成長と挑戦をサポートします。

Mazarsは、ユニークなパートナーシップにより統合された、国際的な監査・税務・アドバイザリーファームです。95以上の国と地域に展開し、世界全体をワンファームとして考え、各国オフィスとの密接な関係に基づき最適なサービスを適時に提供できることを大きな強みとしています。

Mazarsの現在のクライアントは、約40%が日系企業、60%が海外企業です。しかし、最近では海外展開している日系上場企業の監査業務が増加しているとともに、グローバルベースで著名な金融機関や大手製造会社に対する国際監査業務も多く提供しています。国内及び海外IPO関連業務の受嘱も増えてきました。これは、皆さんが幅広くかつ効率的に、様々な業務を経験できることをも意味しています。

我々は、クラウドベースで開発されたグローバル監査ツール「Atlas」を利用し、高品質な監査業務を提供しています。このツールと充実した研修制度により、しっかりと監査の基礎を学んでいただくことが可能です。また、日常的に英語に接していく中で、

自然に英語力が高まっていきますし、語学研修制度や海外移籍制度も、キャリアに有用だと考えています。

歯止めが利かない人口減少の潮流の中、日本企業や日本人が生き残っていくためには、間違いなく海外に目を向ける必要があります。そして、財務報告基準や監査基準が統一化されていく中、ビジネスコミュニケーションが英語で行われることは必然になると言えるでしょう。

我々は、このようなトレンドを重視し、変化していく状況に対し積極的にキャッチアップしたいという向上心のある皆さんに対して、公認会計士としての基礎力を培える環境を提供するとともに、グローバルベースで戦えるビジネスパーソンに成長できるよう真摯にサポートします。同時に、そのような仲間と一緒に、今後の日本企業、ひいては日本経済のために、一生懸命働いていきたいと考えています。Mazarsは、グローバルで戦えるプラットフォームを用意し、皆さんの成長と挑戦をサポートします。

Mazars有限責任監査法人の特徴



11.2 億円+
2023年8月業務収入(見込み)



+37%
業務収入対前年成長率(見込み)



220+
クライアント数



53.5%
女性従業員比率

Mazarsでは、女性の活躍推進をグループ全体で取り組んでいます。性別に関わらず活躍できる環境が整っています。



22 時間
繁忙期の平均残業時間

繁忙期は、通常期に比べて忙しい日が多くなりますが、整ったチーム体制により残業時間は抑えられます。



13 カ国語
対応言語数

日本語、英語、中国標準語、広東語、フランス語、マレー語、ドイツ語、ヒンディー語、ベトナム語、タイ語等。

(2023年5月時点)

上場企業を含む法定監査

日本の上場企業から著名な国際企業まで幅広いクライアントの監査を行っています。国際的な感覚を身に着けながら、公認会計士の基礎業務とも言える上場企業の監査業務を経験することが可能です。

充実した研修制度

プロフェッショナル個人の能力を高めていくことが最も重要だというポリシーのもと、充実した研修制度を用意しています。監査業務に関する社内研修はもちろん、英語研修やビジネススキル研修、Mazarsグローバルで開発された多様な研修ツール等、幅広いプログラムを用意しています。

グローバルな環境

「ワンファーム」として世界で展開するMazarsでは、多国籍からなる同僚、クライアントとのコミュニケーションを通じて、英語に触れる機会が必然的に多くなります。多様性を大切にする環境の中で個々の強みを活かしつつ、グローバルな経験を積むことが可能です。

Mazars 監査マニュアル (MAM)

グローバルで開発された監査指針である「Mazars Audit Manual: MAM」を使用しており、高品質な監査を実施しています。また、グローバル全体で使用している監査ツール「Atlas」を使用することで、効果的かつ効率的な監査を実現しています。これらの監査指針と監査ツールの活用により、国際監査基準 (ISA) で求められる監査手続等を網羅しています。

Mazarsと他法人の違い

Mazarsは、いわゆる大手監査法人ではなく、国内系の中堅監査法人でもありません。人員規模では世界第9位のグローバルファームでありながら、風通しの良いコミュニケーションを保てる規模の組織です。このような特徴があるため、新人の方でも若い年次から責任のある仕事を任せられ、公認会計士としてより早く経験を積み、成長するチャンスを楽しむことができるとともに、他国のMazarsの仲間たちと密接にコミュニケーションをとることにより、グローバル環境を実感しつつ仕事に邁進できます。また、職員の国籍は10カ国以上と幅広く、米国、中国、香港、フィリピン等々、多様なバックグラウンドを持つ公認会計士が所属していますので、日本にいながらグローバルなコミュニケーション能力を磨けることも、Mazarsの魅力です。

Mazars有限責任監査法人 法人概要

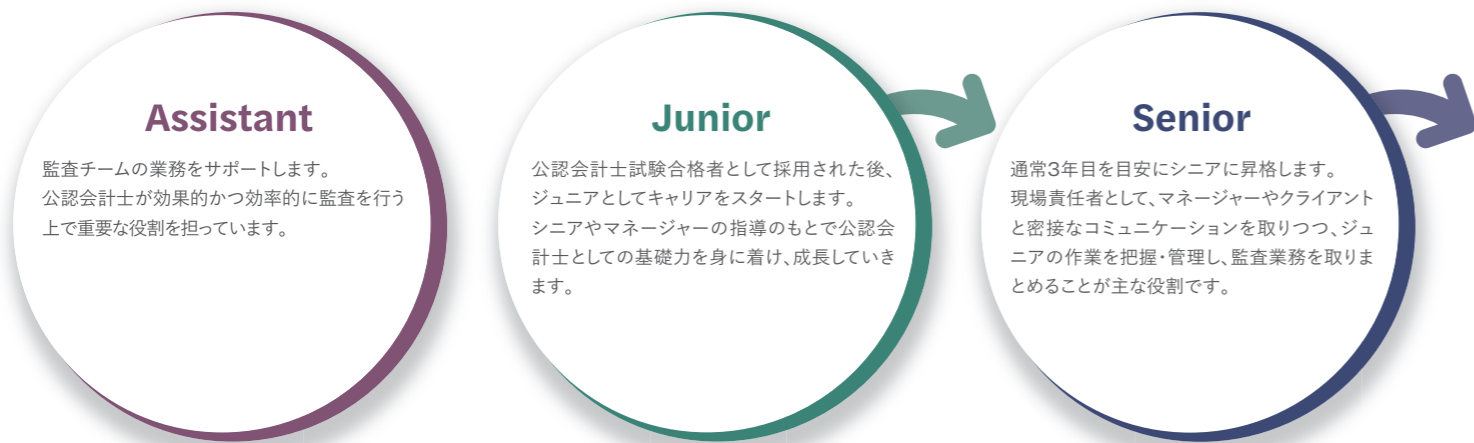
名称	Mazars有限責任監査法人
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44赤坂インターシティ5階
設立	2011年
資本金	6,000万円
総括代表社員	大矢 昇太
人員数	141名(日本・米国・英国・中国・香港・フィリピンCPA等含む。うち非常勤53名)
ホームページ	www.mazars.jp
グローバルネットワーク	世界95カ国以上、47,000名以上のプロフェッショナル

日本におけるメンバーファーム Mazars有限責任監査法人 / Mazars Japan株式会社 / Mazars税理士法人 / Mazars FAS株式会社 / Mazars行政書士法人 / Mazars社会保険労務士法人 *希望者には他社・他法人への転籍支援あり

02

Career path

Mazarsのキャリアパス



Manager



越智 理恵 (おち りえ) 高土 千晶 (たかどちあき)

Partner



内田 雅士 (うちだまさし) 北尾 俊樹 (きたおとしき)

Assistant



笹野 鮎香 (ささの あゆか)

Junior



久保 誠之介 (くぼ せいすけ) 森 功輔 (もり こうすけ) 古市 航平 (ふるいち こうへい)

Senior



山口 裕大 (やまぐち ゆうた) 渡辺 真奈 (わたなべまな) Wu Torie 曾根 光世 (そね こうせい) Lu Laura

リクルートリーダーからのメッセージ

Mazarsでは、グローバルで統一された監査マニュアルや監査ツール、研修(GlobalAudit learning pass)が整備されており、国際基準での監査が可能です。迅速な意思決定により、効率的かつ効果的な監査ができる点も大きな強みです。加えて、密なコミュニケーションによるきめ細かいOJTで、皆さんを監査人として育てる点も特徴です。多様な働き方やキャリア形成を実現しており、例えばリモートワークの導入やグローバル・モビリティプログラムなどが挙げられます。公認会計士としてのスタートラインに立った今だからこそ、修了考査までの数年間は非常に重要です。多様なバックグラウンドを持つ各国の公認会計士と共に働くことで、ぜひグローバルなビジネス感覚を吸収してください。皆さん一人ひとりが成長しつつ一緒に組織を創り上げていける点も、成長と発展を続けるMazarsで働く醍醐味だと言えるでしょう。



リクルートリーダー 杉本 圭 (すぎもとたま)

インタビューから知る仕事、環境、Mazarsの全て

先輩・新入職員 cross talk

P05

Performance manager cross talk

P07

Audit & assurance cross talk

P09

03

先輩・新入職員 cross talk



先輩・新入職員 cross talk

普段はチームの先輩と後輩。
活躍中のメンバーにMazarsの魅力や新入職員の仕事内容、
公認会計士の仕事について語ってもらいました。

フットワークの軽さが魅力。 チャレンジできる幅が広い。

Mazarsに入所を決めた理由

山口 前職の監査法人で監査業務を経験する中で、「より大きな裁量をもって監査業務全体をマネジメントする経験がしたい」、「得意な英語を生かせるよりグローバルな環境で仕事をしたい」と考えていたところ、Mazarsに出会いました。社風としてワークライフバランスを重視していることも、入社を決めた理由の一つです。

久保 私は、2022年度の公認会計士試験論文式試験後に就職活動を始めました。就職先を選ぶ際の軸は「若いうちから幅広い仕事を担当できて成長できる環境」「海外とのネットワークのあるグローバルな監査法人」でした。フットワークの軽さというところも、Mazarsを選んだ理由の一つです。

山口 就職活動前は、Mazarsを知っていましたか？

久保 実は知りませんでした。通っていた予備校の求人誌に数十社ほど監査法人が掲載されており、Mazarsはその一つでした。就職活動では、掲載されていた法人のうち約20社の説明会に参加し、それぞれの話を聞いた上でMazarsに決めました。

山口 20社はすごいですね！入所し約4か月が経過しましたが、どんな印象をもっていますか？

久保 様々なことを任せてもらえます。ここまで担当できるなんて、入所前は想像していませんでした。Mazarsに入って良かったと思う点の一つです！

山口 安心しました。Mazarsは組織がスリムであるため、チャレンジできる幅が広いです。Mazarsは急拡大する中で大きな案件も獲得しているので、様々な業務があります。私は今、アメリカで上場を目指す会社を担当しています。

久保 メンバーも多国籍なので働き方や価値観も様々ですね。



久保 誠之介
ジュニア

山口 多国籍の方と一緒に働くのは、いろいろな経験できて面白いですよ。また、入社する人もいれば状況に応じてリモートワークを選ぶ人もいて、上司も各自のワークスタイルを認めてくれています。この点も、Mazarsならではの特徴だと思います。

久保 以前、山口さんが私に働き方の希望を聞いてくれたので、「オフィスで一緒に作業したいです」と伝えたら、オフィスで丁寧にOJTしていただけました。このようにMazarsは、とても優しい先輩が多いです。

新入職員が担当する業務

山口 まずは、先輩職員の指導を受けつつ、前期調書を参考にしながら、監査調書の書き方やクライアントとの資料のやり取りなどの実務に触れてもらいます。ここでMazarsの良さを挙げるとすれば、一人ひとりが果たすべき役割が大きいことです。久保さんも、すでに数多くのクライアントに関与されましたね。

久保 だからこそ、大きなやりがいを感じています。クライアントとの距離も近く、例えば「この会社の経理業務はこう進めているのか」という視点でも勉強できるので。公認会計士試験で学んだことと実務が繋がると、非常に感動します。

入所後に学べること

山口 久保さんは問題に直面したら、まずは自分で調べて先輩に意見を伝えていますね。私はその姿勢はプロフェッショナルとしての今後の成長につながるので、是非継続してください。

久保 ありがとうございます。Mazarsでは、新入職員である場合も一人の公認会計士と尊重してくれます。また、「間違っても、構わないよ」と見守ってくれるので、意見も発言しやすい環境だと感じています。

山口 Mazarsでは、新入職員を含めてチームメンバー全員で活発に議論できる環境が醸成されています。「こんなことを質問して大丈夫かな」と不安になることなく、積極的に意見交換することで、日々の業務を円滑に遂行することができています。

久保 そうですね。先輩はもちろん、マネージャーやパートナーとも話しやすい雰囲気だと感じています。

山口 新入職員であっても日頃からパートナーと直接話ができることは、非常にいい経験になると思います。Mazarsではパートナーとも近い距離であり、その経験を直接学べるのは貴重ですね。

久保 様々なバックグラウンドの方が在籍し、皆さんのノウハウを掛け合わせて学ぶことができます。

山口 多様性のあるメンバーと協同して新しいアイデアを生むことが出来るクリエイティブな組織だと思います。Mazarsでは規模拡大を目指すクライアントも多く、それでいて距離が近いので久保さんや私でも積極的に提案できますね。クライアントの方も身構えることなく、相談役のような関係で話してくれます。近頃「ありがとう」と言われることが増えました。

久保 クライアントが抱える問題を解消することに貢献できることを身に染みて感じて、公認会計士の社会的意義をダイレクトに感じられる職場だと思います。

今後の目標

久保 入所後、上場企業を担当して仕事の流れを把握し、今の目標は公認会計士としての独り立ちです。

山口 考え過ぎると仕事が遅々として進まなくなってしまうこともあるので、何でも聞いてください。私も具体的な質問を耳にしたら「久保さんにはこんなことをアドバイスしよう」と考えられますので、課題をシェアできるチームにしていきたいです。

リーダーに求めること

久保 先輩方が自分を大事にしてくれるので、私も同じようになりたいです。働きやすく、成長できる環境を提供してくれるリーダーに憧れますね。

山口 私も共感します。昨今のリーダーは、ダイバーシティやフレキシビリティを求められています。このような環境で私が目指するのは「部下と一緒に考え、悩み、各自の理想に近いオーダーメイドの働き方を用意できる上司」です。

Mazars入所を検討中の方々へのメッセージ

山口 公認会計士としてファーストキャリアは非常に重要だと思います。情報収集も重要ですが、人とのご縁も大切にしてほしいと思います。多くのリクルーターに会い、話すす中で、「この人たちと一緒に働いてみたい」という感覚も大切にしてほしいと思います。

久保 同期でも「数社を訪問して就活は終了」という人がいました。一方で私は20社もの監査法人を訪ねたからこそ、最終的に「これだけ多くの会社と人を見て決めたMazarsだから大丈夫!」と決断できました。

山口 受験生の皆様が、リクルート活動の中で素敵な出会いがあることを願っています。



山口 裕大
シニア

04

Performance manager cross talk



Performance manager cross talk

MazarsのPM(パフォーマンス・マネージャー)制度。個々を俯瞰するPM制度について語ってもらいました。

クライアント毎にマネージャーが変わるのが監査業務の特徴。PMは何でも相談できる相手です。

PM(パフォーマンス・マネージャー)制度

PM(パフォーマンス・マネージャー)はジュニアならシニア、シニアならマネージャーといった各メンバーに近い立場の上位者がPMとしてアサインされます。期初には年間目標設定の面談、期中には進捗状況の確認面談、期末に達成度の確認面談など、状況に応じて、コミュニケーションを取ることで、キャリア形成をサポートしています。また、仕事上の悩みや有給休暇の取得タイミングの相談など、業務のいたるところでコミュニケーションを取ることで安心して働ける環境を整えています。監査という仕事の性質上、エンゲージメントごとに上司が異なることが多いので、業務から少し離れたメンターに近い役割です。日常の相談はもちろん、何でも話しやすい関係が醸成しています。

PM制度の特徴やメリット

越智 個人的な相談やエンゲージメントの構成に悩みがある場合、誰に話すべきか迷うことなくPMに相談できる点です。

渡辺 ちなみに私のPMは越智さんで、越智さんのPMが内田さんです。越智さんには、業務における悩みやキャリア形成などについて、頻繁に相談しています。

越智 担当するクライアントの上位者とは一歩離れた立場であり、気にすることなく話せる場所もPM制度の魅力ですね。

内田 PMは働く上での良い相談相手ですね。PMとしての担当は少人数を原則としており、よく目が行き届いています。業務上の上位者だとその案件にフォーカスすることが多く、担当者の業務量を正確に把握しきれない場合もあります。そこで、PMが間に入って仕事量のバランスを調整したり、有給休暇の取得を促したりしています。いわば、個人を俯瞰できる存在ですね。

働く上での相談役。新入職員も溶け込みやすい。

越智 PMは悩み事を聞くことが少なくありません。「この人と働いてみたい」「この業種の監査がしてみたい」など、ざっくばらんに話せる少し上の立場の人間がPMです。私だけで解決できない内容であれば、パートナーなど上位者にも相談し、キャリア形成をサポートしています。

渡辺 私はリモートワークが多いため、越智さんに「相談していいですか?」とチャットし、電話しています。非常にカジュアルに相談できるので、私はPM制度のヘビーユーザーです!

内田 ライフイベントにおいては、例えばある男性職員が育休を申し出た際も、まずはPMが相談を受け、パートナーに話を展開して業務バランスを見直しました。Mazars全体で男性の育休取得も積極的に推奨しているのもあり、相談しやすい環境です。

渡辺 少し共有しにくい内容でも緊張感なく話せる相手が近くいることで、ストレスなく働いています。法人内の事務手続など基本的なことも気軽に聞けるので、新入職員の方も溶け込みやすい環境であると思います。

内田 溶け込みやすさといえば、若手同士の懇親会やエンゲージメントの懇親会も開催しています。Mazarsの多様なメンバーを交流する機会も豊富にあり、溶け込みやすい環境が整っていると思います。

越智 仕事に関わるメンバーはエンゲージメントチームごとに異なりますが、Mazarsはどこも居心地が良いですね。

内田 PM制度によって話す機会も増えるので、自然とその人の強みもわかってきます。

越智 私は渡辺さんのPMでありつつ、同じエンゲージメントも多く一緒に働く機会も多いです。彼女の得意分野をよく理解しているので、彼女の成長を見つつ、渡辺さんのキャリアをサポートしています。

渡辺 任せてもらえることが増えると自信になりますね。実際、社内にいる他法人出身者の話を聞くと、当法人は任せてもらえる業務の幅が広いと感じています。責任をもって取り組んだことが結果に繋がると、監査のプロフェッショナルとしての成長を実感できています。

皆さんが目指す公認会計士とは

渡辺 常に心掛けているのは「クライアントにとって相談しやすい存在であること」です。しかし、気軽に話せるだけで、頼られなければ意味がありませんので、もっと知識を磨こうと思います。

越智 私もクライアントに付加価値を提供し、信頼を獲得したいと思っています。

内田 私の立場からは、皆さんに「やっぱりMazars出身だからすごいのか」と言われるような、どこでも活躍できる公認会計士になってほしいです。プロフェッショナルなので当然に勉強する必要がありますが、勤務時間内の研修も豊富ですので、目指す公認会計士像に近づきやすい環境だと思います。

新しい仲間へのメッセージ

内田 重要なのは「人」です。組織とは別に、いい仲間や上司に出会えたら成長につながります。多くの会社を見て「この人と働きたい」と感じた場所を選ぶのが、1番だと思います。

越智 公認会計士の勉強は大変ですが、学んだことをダイレクトに生かせる仕事です。ぜひ、勉強したことを活かすため、Mazarsに入ってきていただきたいです!やってきたことは決して無駄にならないと思います。

渡辺 直感やインスピレーションを大切にすることで、会社との出会いもあると思います。私の場合、それがMazarsでした。皆さんが「1番幸せになれる」就職先を見つけていただきたいと思っています。



内田 雅士
パートナー



越智 理恵
マネージャー



渡辺 真奈
シニア

05

Audit & assurance team cross talk



Audit & assurance team cross talk

人材は多国籍で色とりどり。洗練された業務のクオリティと組織づくり。

Mazars監査チームの雰囲気

高土 多種多様なバックグラウンドの方々が出て日々刺激を受けています。そして、皆さんすごく優しく、気遣いのセンスを感じる事が良くあります。

Wu 質問にもすぐ答えてくれるので、疑問点もすぐ解消できています。

森 そうですね。気軽に先輩方が声を掛けてくれるので働きやすいです。

北尾 Mazarsの特徴として、若手との距離が近いことが挙げられます。また多様な方がいて、毎日のように「新しいことが生まれるかも」と感じられるのも面白いです。

高土 Mazarsのように、これだけ多様な環境であれば、普段から外国の方と触れ合う機会やグローバルな環境で働けると思い、入所を決めました。私はリファーマル業務のチームを担当しているのですが、メンバーがあまりにも多国籍で驚きましたね。

Mazarsは多種多様な人材の宝庫。日頃のコミュニケーションを通して感じる監査チームの雰囲気について語ってもらいました。

北尾 Mazarsの人は色とりどりです。さらに業務のクオリティや組織づくりも、洗練されていると感じます。

チーム内のコミュニケーションで工夫・意識していること

森 基本的なことですが、報・連・相を大事にしています。

高土 こちらからお声掛けしなくても、森さんは上司の私に積極的に話しかけてくれるので助かっています。

Wu 私は自分なりの結論を出した上で、話しかけるよう努めています。皆さん多くの仕事を抱えているので、会話がスムーズになるよう工夫しています。

北尾 「誰かの承認を取らなければ何も始められない」といったヒエラルキーがないのも、Mazarsらしさですね。

森 チーム外の話ですが、実は明日、社内のフットサルクラブに参加する予定です。

Wu 私も社内イベントで高尾山のハイキングに行きます。監査法人以外のグループ法人の方と新しい関係が生まれそうで待ち遠しいです！

リスクを認め、それが挑戦を促す風土がある。

OJTの状況

森 監査調書の作成では、前年度分をベースに上司や先輩の説明を聞き、まずは自分で作成します。完成したらレビューを受け対応し、次回に活かしています。

Wu 経験者の話を聞きながら作り上げていくことで、頭の中も整理できます。ジュニアには、シニアの立場から、職位が上がることで気づける部分を共有しています。

高土 私は質問を受けた時がOJTのタイミングだと考えています。仕事の面白さを実感してほしいので、業務が作業で終わらないように「個々に目的意識をもって、自ら解決する能力が伸びるように」と工夫しながら、答え方を用意します。監査調書のレビューでは、もっと追求してほしいこともあるので、自分で関連項目を調べてメモに残すよう心掛けています。

北尾 我々の仕事は規模も様々ですが、一つひとつに大変な責任があります。担当者の状況もそれぞれ異なるので、これらを踏まえた働き方を用意するのが私の役割です。

新入職員の役割について

森 クライアントに依頼した資料の管理や、残高確認状の発送、現預金や借入金など基本的な調書の作成などをお任せすることになると思います。

Wu 新入職員の時に担当する仕事は単純に思えるかもしれませんが、監査の基本となる極めて重要なことなので、オーナーシップを持って取り組んでほしいです。

チームとしての取り組み

高土 個別業務もありますが、やはりチームでの仕事を中心です。また、クライアントの協力を得ることが大切なので、コミュニケーション能力は重要です。一人ではなく、皆さんと一緒に作り上げていくものだと思います。

北尾 広大で奥深い情報を扱っているため、みんなで手分けすることは不可欠です。

自分や後輩の成長を感じる場面

高土 私は皆さんの質問を受ける立場です。当初は「何が分からないのか分からない」から始まり、やがて「私はこう思いますが、いかがですか?」と、意見を添えて相談してくれるようになると感無量ですね。

Wu 新人の頃を振り返ると、簡単なことばかり尋ねていたと思います。しかし自分がシニアになった今、質問に答えたジュニアに変化が起きることは大きな喜びですね。



北尾 俊樹
パートナー



高土 千晶
マネージャー



Wu Torie
シニア



森 功輔
ジュニア

森 入所当時の監査調書のレビューは修正点ばかりでした。ですが、最近は「しっかり検討できていますね」というコメントが増え、自分の成長を実感しています。

北尾 前年の成果を参考にすれば、円滑に業務を始められる会社もあります。一方でMazarsは初対面のクライアントも多く、業務における創造力が求められます。1から立ち上げないといけないスタートだからこそ、成長して仕事を自分のものにできると思っています。

高土 確かにゼロから作り上げる仕事も多いですが、私はそれが大好きですね。

印象に残っている業務

森 初めて担当した案件でクライアントの工場を訪ね、現場の方々と話したことです。現場の雰囲気は圧倒されました。

北尾 現在、ナスダック上場を目指す会社を支援しています。今までアメリカの監査法人がやっていたことを日本で実現できるようになれば、日本のクライアントに喜ばれると思いますし、成功したらその業界に大きなインパクトを与えられると思っています。

Wu Mazarsにはリスクを認める風土があり、それが挑戦を促します。とても素晴らしいと思います。

今後の個人目標について

北尾 やはりナスダック上場の案件を成功させたいです。日本の監査法人が国内で業務を完結できない現状を変えたいです。そして、30年近く停滞している日本経済を活性化させるのも目標ですね。

高土 グローバルな法人にいますので、私もコミュニケーションの幅を広げたいと考えています。またクライアントからの「ありがとう」を増やすことも目標ですね。

森 入所当初は自分のことで精一杯でしたが、これから入所する後輩をサポートできるように視野を広げたいです。

Wu 「Mazarsと共に成長したい」と強く思っています。このために法人運営にも主体的に参加したいと思っています。

Mazarsに入所を考える方へのメッセージ

Wu 良い人ばかりなのですぐ馴染めると思いますが、多様なメンバーと交流し、法人を盛り上げていきましょう。

森 監査チーム以外のメンバーと話す機会も多く、学ぶ機会がたくさんありますので、一緒に成長していきましょう。

高土 Mazarsは思いやりのある人が多いので、気軽に疑問点をぶつけてください

北尾 我々は新たなマーケットを作っています。思い切って飛び込んでください。

06

Staff × Our work

4人の職員に、それぞれが担当する業務について紹介してもらいました。

上場会社監査業務

曾根 光世 シニア

上場会社監査業務を経験することは、公認会計士の独占業務である会計監査の基礎を学ぶことができます。新しい会計基準や監査基準に触れる機会も多く、どのような会計処理を行うべきか、常に考えていく必要があります。そのことが仕事の面白さに直結します。多様な業種・規模のクライアントを有しているため、業界特有のビジネスモデルを理解し、自らのナレッジとして蓄積できるため、広い知見を有したプロフェッショナルとして将来の選択肢も広がります。

Mazarsでは若い年次から幅広い業務を担当できるため、監査の全体像を早く掴むことが可能であり、早期からチームの主力メンバーとして活躍できることで、飛躍的に成長できるフィールドがある点も大きな魅力です。

休日の過ごし方

- ゴルフ(打ちっ放しや、ゴルフショップ巡り)
- バイク
- 英語の勉強(将来、海外駐在を考えています)



SPV(Special Purpose Vehicle)

笹野 鮎香 アシスタント

不動産や太陽光などの再生可能エネルギー関連プロジェクトにおいて、SPV(Special Purpose Vehicle:特別目的事業体)のスキームが活用されるケースが少なくありません。Mazarsの金融セクターでは、不動産を投資対象とし、様々なスキームにより組成されたSPV監査を受嘱しています。Mazarsでは、公認会計士資格×不動産鑑定士等の関連資格を有する専門家がSPVチームを組んでいるため、複雑なスキームであっても効率的に対応することが可能です。SPV監査では、不動産の理解やSPV特有の会計処理及びスキームの理解、関連法令やファイナンスなど幅広い専門知識が不可欠ですが、Mazarsではチームによる丁寧なOJTを実施し、特殊分野であっても安心してチャレンジできる環境が整っています。

休日の過ごし方

- 温泉旅行(温泉でのんびり日頃の疲れを癒すのが好きです)
- ライブ鑑賞(音楽が好きなので好きなアーティストのライブによく行きます)
- 食べ歩き・飲み歩き(美味しいごはんとそれに合うお酒を飲みに行きます)



リファーマル業務

古市 航平 ジュニア

Mazarsでは、海外の監査人から送付されるインストラクションに準拠した、国際企業の日本法人への保証業務(以下、リファーマル業務)が柱の一つです。リファーマル業務には、Mazarsのグローバルネットワークを活かし、世界的に有名なラグジュアリーブランドや製造業、製薬業など、多岐にわたる業種の監査を経験できる面白さがあります。また、リファーマル業務では、IFRS(国際財務報告基準)やUS-GAAP(米国会計基準)に基づき作成された財務諸表の保証業務を実施する機会が多く、国際的な会計基準の知識が身につくのも魅力です。海外の監査人とメールや電話会議等でコミュニケーションをとる機会も多いため、英語力の向上はもちろん、国際的なコミュニケーション能力を培うチャンスが豊富にあります。

休日の過ごし方

- 国内・海外旅行
- 料理
- フットサル
- 英語の勉強
- サッカー・野球観戦



アドバイザリー業務

Lu Laura シニア

Mazarsでは、国内外の上場支援、IFRSアドバイザリーの経験を積むことが可能です。IFRSアドバイザリーにおいては、日常の監査業務を通じてIFRSへのコンパリエンススキルを向上させ、将来的には新基準適用コンサルタントに特化していくなどのキャリア形成が可能です。Mazarsグローバルでは、ESG(環境、社会、ガバナンス)の専門チームがアシュアランス、アドバイザリー、品質管理の3ラインに区分され、企業が社会に与える影響をどう開示すべきかなど、企業のESG戦略構築への助言業務を活発に行っています。日本におけるMazarsでも、欧州系日本子会社向けサービスを通じて、欧州の最新動向をキャッチアップしつつキャリアを歩んでいく道も広がっています。

休日の過ごし方

- 関東近郊のショートトリップ(友人と温泉・キャンプ等)
- 公園巡り(特に代々木公園がお気に入り)
- ドライブ
- 雑貨屋巡り(特に代官山によく行きます)
- カフェで読書
- 美術館巡り





Talent development

Mazarsでのキャリア形成

Mazarsでは法人全体のさらなる監査品質向上のため、個人の成長段階や業務内容に合わせた研修プログラムや各種トレーニングを実施しています。

他のサービスラインへの移籍や他国のMazarsへの出向・移籍なども可能です。

監査研修

Mazarsでは、全ての職員が参加する全体研修を定期的に行っており、法人全体のさらなる監査品質向上に努めています。また、職位ごとに監査人として求められるスキルを定義し、それをもとに作成された研修プログラムを実施しているため、監査人としての一層のスキル向上が可能です。

各種トレーニング

監査に関わる社内研修例

- ・ 実査、立会、確認、現預金、借入金等の勘定残高等に関する基礎的な監査手続の研修
- ・ IFRS、US-GAAP、新規適用されるJ-GAAP 等に関する研修
- ・ IT 監査、内部統制監査、IPO 監査・アドバイザー業務等を実施するための研修

その他のトレーニング

- ・ 資格補助
- ・ ビジネスマナー研修
- ・ マネージャー 研修
- ・ 語学研修

モビリティプログラム

Mazarsのグローバル・モビリティプログラムは、キャリアのさまざまな段階で参加できます。国内だけではなかなか実現できない豊かな経験を積むことにより、個人的にもプロフェッショナルとしても真の成長が得られるでしょう。対象となるのは、Mazarsで2年以上の勤務経験を有する希望者で、他国のMazarsに出向・移籍することが可能です。

U-Learn

U-Learn は、Mazarsが様々なリソースを集めて開発した、オンライントレーニング・プログラムです。個人の成長段階や業務内容に対応した適切なコース、教材のカタログが見つかります。また、グローバルセミナーやプロジェクトを通じて、世界中のMazarsのプロフェッショナル同士が、それぞれの経験や専門知識を共有する取り組みも実施しています。

例：専門的スキル(監査・税務・アドバイザー・アウトソーシング・ソフトウェア等)、
ソフトスキル(コミュニケーション・タイムマネジメント・リーダーシップスキル・ビジネスデベロップメント)、語学スキル等

LinkedIn トレーニング

LinkedIn が提供する学習リソースへのアクセスを無料で提供しているのも特徴的です。専門知識に関するトレーニングをはじめ、多種多様なトレーニングコースが用意されています。

他のサービスラインへの移籍

Mazarsではプロフェッショナルとしてのキャリア形成を様々な形で支援しています。そのひとつとして他のサービスラインへの移籍が挙げられます。例えば、監査法人から、税務、アドバイザー、アウトソーシングのサービスを提供する各法人への移籍が可能です。





Work environment

Mazarsの職場環境

ハイブリットな働き方

自宅でのリモートワークや事務所・往査を柔軟に選択し、適切なコミュニケーションを取ることにより、効率的な監査を実施しています。リモートワークの際には、業務上必要となる携帯電話等を貸与し、チーム間ではオンラインツールを使用してコミュニケーションを図りやすい体制を整えています。

休暇

法律により定められた年次有給休暇に加え、法人として年間5日以上の休暇及び長期休暇の取得も奨励しています。監査業務の性質上、予定の見通しが立てやすく、休暇を取得しやすいのも魅力です。



社内イベント

ワンチームコンセプトのもと、サービスラインを超えたスタッフ間のコミュニケーションの場も積極的に構築しています。クラブ活動の他、全社ミーティングや様々な社内イベント、チーム間での懇親会等を実施しています。



育児支援

Mazarsで働く女性は多く、育児休暇取得後に復帰し活躍しているマネージャー・スタッフも多数在籍しています。復職後は、希望により時短勤務も可能です。また、男性の育児休暇取得にも積極的に取り組んでいます。個々のライフステージを尊重し、ワークライフバランスを実現するために、育児とキャリアの両立を全面的にサポートしています。

クラブ・アクティビティ

“At Mazars, you make friends for life.”

私たちにとって、仕事は楽しむものです。そんなMazarsの親しみやすい社風を通じて、数多く展開しているクラブ活動も楽しみのひとつです。所属する法人に関係なく、Mazars全体の仲間との交流の場として、共通の趣味や初めて挑戦するアクティビティをぜひ楽しんでください。

Mazarsのクラブ

ランニング	フットサル	ポーカー
ゴルフ	テニス	eスポーツ
ハイキング	サウナ	ジャパンカルチャー





菅野 友美 | シニアマネージャー
(すげのともみ) | 2020年入所

モビリティプログラムを利用して海外に転籍して感じたMazarsの柔軟な体制と、受け身でなく積極的に行動する大切さについて語っていただきました。

自己紹介をお願いします。

Mazars in Canadaのトロントオフィスに在籍する、監査シニアマネージャーの菅野友美です。私は、日本の高校卒業後、カナダの大学で会計学を学びました。大学卒業後は、トロントにある監査法人に入所し、約7年間上場企業の監査や海外進出する日本企業をサポートしていました。その後、日本でキャリアを積むためにMazarsに入所しました。

Mazarsに入所して、これまでのキャリアをどのように形成してきたか、その経験について教えてください。

2020年にMazarsに入所し、英語力を活かして主にリファーマル業務やグローバルジャパンデスクのマネージャーも兼務してきました。また、監査業務だけでなく、リクルート活動やスタッフのアサイン管理、エンゲージメントの利益管理等、監査法人の組織運営に携わりましたが、法人成長を間近で体感できる点はMazarsの魅力です。

トロントには日本企業の子会社が多数あります。ここでは、日本企業へのサービス拡大ができるように貢献したいと考えています。世界中どこでもMazarsならではの高品質なサービスを提供できる、そんなビジョンを描いて業務にあたっています。

菅野さんが感じるMazarsの特徴を教えてください。

ダイバーシティ&インクルージョンを推進しており、個々人の意見を尊重してくれる点です。女性比率の高さや性別に関係なく活躍できる環境は大きな魅力で、代表を含めて若いチームで会社を成長させていこうとする点もMazarsならではの特徴です。社内会議やクライアントとのディスカッションの場でも、年次に関係なく発言でき、意見を採用してもらえる風土があるので、若い年次からでもコミュニケーション能力が鍛えられます。受け身ではなく積極的に行動していく人が多い点も特徴的だと思います。また、パートナーとの距離が近く、コミュニケーションが取りやすいので意思決定のスピードが速く、クライアントに対し迅速なサービス提供につながっています。

海外赴任・転籍に際して、Mazarsからどのようなサポートを受けましたか？

家庭の事情でカナダに戻ることにになり、当初は退職も考えていました。しかし、経営陣がMazarsのトロントオフィスとすぐに調整いただき、転籍が非常にスムーズに決まりました。人生には、自身ではコントロール出来ないライフイベントが多々あると思います。そうしたときにも、Mazarsは柔軟にサポートしてくれます。Mazarsはワークライフバランスを重視しており、多様な働き方や生き方をサポートする企業だと実感できました。転籍をサポートしてくださった両国のMazars経営陣に感謝の気持ちで一杯です。

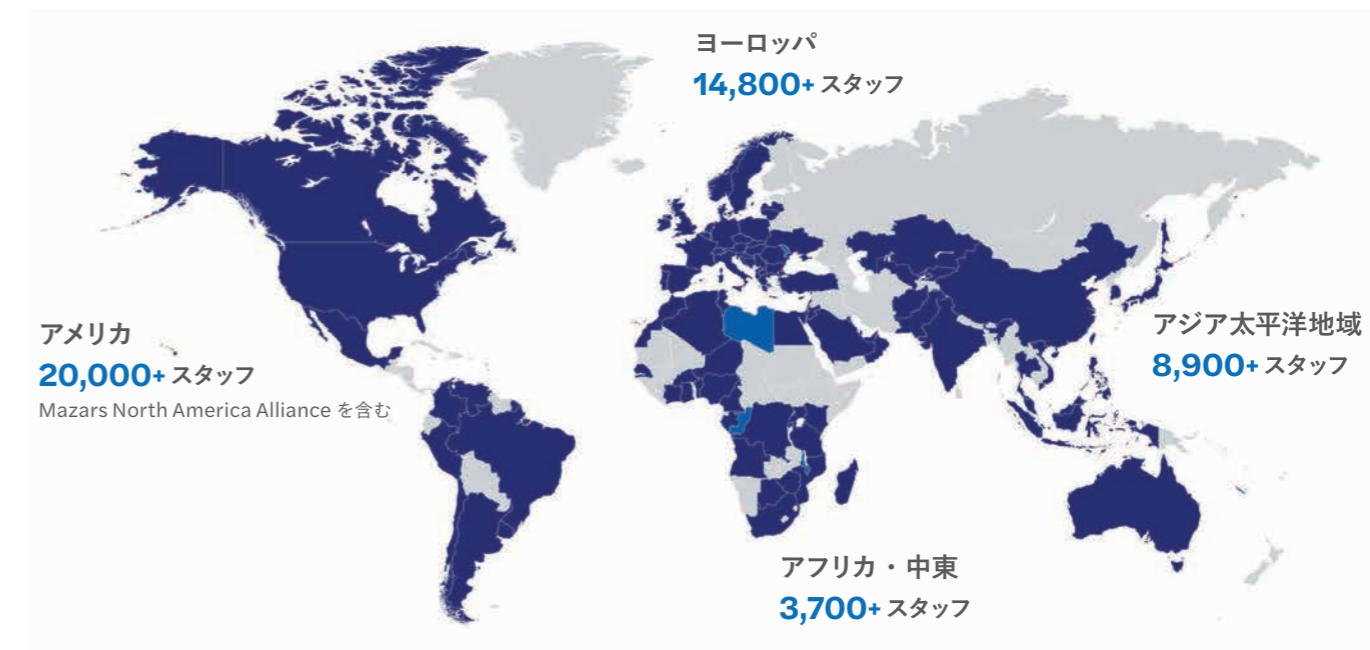
これからMazarsに入所する方、モビリティを検討する方にアドバイスやポイントをお願いします！

日本と海外での勤務経験を通して私が実感していることは、日本の公認会計士の方々の豊富な知識・知見です。海外と比べても日本の公認会計士試験は合格が非常に難しく、皆さんには、ぜひその力を海外で発揮していただきたいと思います。これまでは公認会計士試験の勉強に集中していたと思いますから、外国語に自信がない、果たして自分が世界で通用するのか未知数だと思う方も多いでしょう。しかし、将来的に日本を飛び出してグローバルな視点から仕事にチャレンジしたい方にとって、Mazarsにはチャンスがあります。Mazarsでは、日本にいながらにしてグローバル環境で仕事ができます。日本で上場企業の監査やリファーマル業務を通して監査経験を積みながら、グローバルに対応できる力を身に付けてみませんか？

一緒に働ける日を楽しみにしています。

Mazars Group について

Mazarsは、ワンファームとして、専門知識、規模、文化的理解を活かしながら、監査、会計、税務、ファイナンシャル・アドバイザーにおける卓越したテラー・メイドのサービスを提供しています。



2023年1月1日現在

- Mazarsのワンファームとして事務所を有する国・地域
- Mazarsの駐在員事務所を有する国・地域

Mazarsは1945年、ロバート・マザーによってフランスのルーアンに設立されました。現在では95以上の国と地域、47,000人以上のプロフェッショナルで構成される国際的なグループに成長しています。

Mazarsのユニークな統合パートナーシップは、すべての大陸をカバーしています。その規模感により、世界中のグローバルおよびローカルクライアントにサービスを提供しており、素早くかつ親身なアプローチが可能です。Mazarsのいずれの活動領域でも、ワンチームとして協力できる体制が整えられているのも特徴的です。これにより、各国特有の知識や文化的意識、グローバルな視点に立ち、あらゆるクライアントに対して高品質のサービスを提供しています。

責任を持ってクライアントにコミットするファームとして、価値観を共有し、一人ひとりの職員の自立を支援しています。そして、業界の将来に貢献し続けることで、次の世代に豊かな世界を託すことを目指しています。

数字でみる Mazars Group

€24.5 億

2021/2022年度の業務収入

+16.4%

業務収入対前年成長率

300+

オフィス

53%

世界全体の従業員の女性比率

43%

監査業務の総業収入に占める割合

1,200+

世界中のパートナーの人数